

平成25年8月11日に茨城県常陸太田市で発生した突風について  
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

8月11日15時頃、茨城県常陸太田市大里町(おおさとちょう)、久米町(くめちょう)及び薬谷町(くすりやちょう)付近で、突風が発生し、屋根瓦がめくれるなどの被害がありました。

このため12日、水戸地方気象台は職員を気象庁機動調査班(JMA-MOT)として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、ダウンバーストまたはガストフロントの可能性が高いと判断した。

(根拠)

- ・ 被害の発生時刻には活発な積乱雲が、被害地付近を通過中だった。
- ・ 渦の目撃や耳に異常を感じた等の竜巻を示唆する情報は得られなかった。
- ・ 被害や痕跡は面的に分布していた。
- ・ ダウンバーストに特徴的な強雨を伴っていたという証言が複数あった。
- ・ 被害域に近い気象観測所の観測データでは、ガストフロントに特徴的な気温、風向風速の変化がみられた。

(2) 強さ(藤田スケール)

この突風の強さは藤田スケールでF0と推定した。

(根拠)

- ・ 住家の屋根瓦のめくれ・落下が複数あった。

\* この資料は、速報として取り急ぎまとめたもので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。